

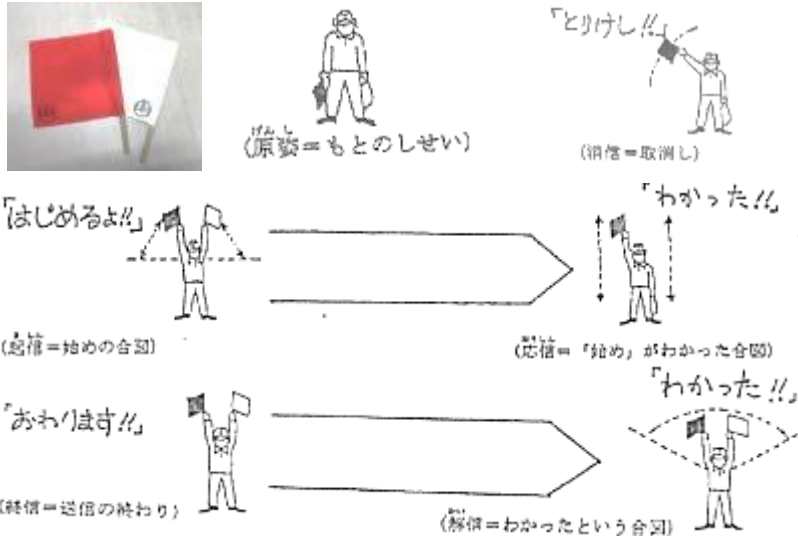
手旗活動

①手旗信号について知る

<手旗信号>

- ・おもに船の上で、見える範囲（双眼鏡使用時含む）で遠くへ通信を行う手段。
- ・声が届かないところとコミュニケーションをとることができる。
- ・元々は、海軍でカタカナを元に考案され、海上での通信手段として広まった。
- ・現在では、海上自衛隊や海上保安庁の基本的特技とされている。

②手旗信号の基本動作の確認



<持ち方> 右手…赤旗 左手…白旗

<基本動作>

- 原姿（基本姿勢）
- 起信（始めるよ）、応信（わかった）
- 終信（終わるよ）、解信（わかった）
- 消信（取り消し）

・簡単な言葉の動作を練習する。ex. うみのこ

③手旗信号を体験する



- ・手旗信号で交信する。
- ・寄港地のウォークラリー時などに船や港など離れたところから交信する。
- ※ 3～5文字程度の言葉をいくつか用意しておくといよい。
- ※ なれば、「文字形象表」をもとに自分たちで好きな言葉を送りあうこともできる。

④海洋活動のよさや文化についてまとめる

- ・体験した感想や、手旗のよさについて交流する。
- ・カッター活動やロープワークと関連付け、船という特殊な環境を利用した生活の工夫を見つける。
- ・びわ湖や船を利用した人々のくらしの工夫について調べる。